

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年5月20日

インフルエンザワクチン接種で新型コロナ重症化リスクが大きく低下

## 【松崎雑感】

昨年の8月10日のコロナ情報（210810コロナ情報）でインフルエンザワクチン接種者は、新型コロナの様々な合併症が有意に少ないという報告を紹介しました。今回は、カタールの研究者によって、インフルエンザワクチン接種歴があると、新型コロナ重症化リスクが10分1近くに減ったことが報告されました。対象症例が少ないので、まだ決定的とは言えませんが、ウイルス性疾患に対するワクチン接種が、新型コロナに対しても免疫力をアップさせる可能性があることを、強く示唆しています。インフルエンザ+新型コロナワクチン（ICワクチン：松崎造語）ができるかもしれません。

## インフルエンザワクチン接種で新型コロナ重症化リスクが大きく低下

Callaway E. **Flu vaccine could cut COVID risk.** **Nature**. 2022 May 16. doi: 10.1038/d41586-022-01315-9. Epub ahead of print. PMID: 35581411.

インフルエンザワクチンを接種したヘルスケアワーカーは新型コロナ重症化リスクが減ったが、効果は長くないようだ

インフルエンザワクチンに新型コロナ重症化を防ぐという驚くべきベネフィットのあることが分かった[1]。

カタルの3千人のヘルスケアワーカーを対象にした調査によれば、インフルエンザワクチンを受けた場合、数か月間は**新型コロナ重症化リスクが90%以上低下**することが分かったsevere COVID-19。

この研究は、インフルエンザワクチンなどの予防接種が、新型コロナに対する免疫を強めることを示唆した先行研究を受けて、新型コロナワクチン接種が始まる前の2020年末から開始された。

## コラテラル・ベネフィット

もともと予防接種を受ける人々は、そうでない人々よりも新型コロナへの感染防止行動をとることが多いため、インフルエンザワクチン接種そのものの効果を定量化することには難しい問題があった。

この「健康志向バイアス」を最小にするために、感染症疫学専門家アブ・ラダッド氏のチームは、カタールの30774名のヘルスケアワーカーの医療記録を分析した。その結果、ヘルスケアワーカーは一般市民よりも、健康志向行動のばらつきが少ないことが分かった。しかし、若干のバイアスが存在すると彼は語った。

研究チームは新型コロナ感染者518名と、非感染者2千名以上をマッチさせて解析を行った。その結果、**インフルエンザワクチンを受けた人々の新型コロナ感染率は未接種群より30%低く、重症感染リスクは89%低かったことが分かった**（ただし重症者は両群でそれほど多いとは言えない）。この論文は5月10日にプレプリントサーバーに投稿された。

スイス、バーゼル大学の疫学者ギュンサー・フィンク氏は、カタールスタディが、多くのバイアスのかかった先行研究でたまたま出た結論の不安定性を減らすことができたと指摘している。彼のチームは、ブラジルにおいて、インフルエンザワクチン接種が新型コロナ入院患者の死亡率を減らしていたと報告している[2]。

オランダ、ニーメンゲンのラドバウド大学病院の感染症専門家ミハイ・ネテア氏は、これがこの証拠の重要性を示す知見だと語った。

インフルエンザワクチン接種が新型コロナ感染を減らすだけでなく、重症化を減らす事が示されたことで、この関連が真実であることの証明となるというものである。

### いつまで効果が続くのか

インフルエンザワクチン接種が新型コロナ重症化リスクを低下させる効果がいつまで続くのかは明確にはわかっていない。

アブ・ラダッド氏のチームは、インフルエンザワクチン接種から新型コロナ感染までの平均期間が6週間と報告している。彼は「効果が長く続くとは思っていない」と語る。ネテア氏は6か月から2年の幅を見込んでいる。

なぜインフルエンザワクチン接種が新型コロナ重症化を減らすのかも、十分わかってない。インフルエンザワクチンは、死んだインフルエンザウイルスを含んでいる。

それが新型コロナ重症化をもたらしているのかもしれない。

ワクチンは、特定の病原体を認識して免疫システムを作動させる仕組みとなっているが、様々なウイルスに対して広く免疫効果をもたらす作用もあるのだらうと、インフルエンザワクチンと新型コロナの関連を発見したネテア氏は考えている [3]。

ネテア氏のチームは、インフルエンザなどのワクチン接種が新型コロナ重症化をどれくらい防ぐかを定量的に明らかにする研究を行っている。

健康志向バイアスを取り除くために、無作為抽出プラセボコントロール試験をブラジルで実施している。投与ワクチンはインフルエンザとMMRである。

限定的な効果であっても、他の疾患のためのワクチン接種が、新型コロナ重症化を減らすことが証明できるなら、幾百千万人の命を救うことができるだらうとネテア氏は述べた。